

写真展

オードリー・スタイル飾らない生き方

AUDREY HEPBURN

展覧会名： 写真展「オードリー・スタイル 飾らない生き方」
会 期： 2023年4月8日[土]～6月18日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時（入館の受付は午後4時30分まで）
休 館 日： 木曜日（5月4日は開館）
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円 * 土曜日、5月5日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
後 援： 静岡県教育委員会
助 成： 三島信用金庫
協 賛： セキスイハイム東海株式会社
広告協賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
企画制作： クレヴィス

オードリー・ヘプバーンの飾らない生き方

佐野美術館は、2023年4月8日[土]～6月18日[日]の期間、今年没後30年となるオードリー・ヘプバーン(1929～1993)の素顔を写真でたどる展覧会を開催します。

1929年にベルギーで生まれたオードリー・ヘプバーン。バレリーナを夢見ていましたが、フランスの小説家コレットに見いだされ、1951年のミュージカル『ジジ』でブロードウェイデビューを果たします。

同時にオードリーはハリウッド映画『ローマの休日』の王女に抜擢され、気品に満ちたプリンセスを可憐に演じ、スターの道を歩きはじめます。彼女の前髪を短く切り、サイドをカールした髪型は「ヘプバーンカット」として多くのメディアや雑誌にとりあげられました。『麗しのサブリナ』『パリの恋人』『ティファニーで朝食を』『マイ・フェア・レディ』…。女優としてはもちろんのこと、サブリナパンツやフラットシューズ、シンプルなブラックドレスなど、オードリーは新しい時代をリードするファッションアイコンとなり、誰もが彼女の魅力に夢中になりました。晩年はユニセフ親善大使として厳しい環境に生きる子どもたちへの援助活動にも貢献しました。

女優として、女性として、母として、ひとりの人間としてオードリーの信念ある生き方は、今も多くの人の共感を得ています。

本展では、オードリー・ヘプバーンの飾らない生き方を著名な写真家の作品を中心に約130点の写真で展観します。

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合、画像1点のときは1を、複数点のときは1および2～5の画像をデータで提供できます。電話またはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットとコピーライトの明記をお願いします。



1.



2.



3.



4.



5.

1. ハリウッド近くのホテルにて 1953
©Bob Willoughby/mptvimages.com
2. 「素晴らしき遺産」1951
Everett Collection/AFLO
3. 「ローマの休日」1953
Shutterstock/AFLO
4. 「戦争と平和」1956
Photononstop/AFLO
5. 「ティファニーで朝食を」1961
mptvimages.com

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp